



平成26年11月号



# 概 況

最近の県内経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動減の影響がみられるが、基調としては緩やかな持ち直しの動きが続いている。

まず個人消費関連では、大型小売店販売は、百貨店がやや増加したものの、スーパーが減少し6ヶ月連続のマイナス。自動車販売は、3ヶ月ぶりにプラスとなった。

住宅建設は、分譲住宅が増加したものの、持家、貸家が減少し、5ヶ月連続で前年同月を下回った。公共投資は、独立行政法人等と市町村が増加したものの、国と県が前年実績を下回り全体を押し下げた。

生産関連では、鉱工業生産指数（季節調整値）は前月比11.6%低下の99.5と再び前月を下回った。

26年県産リンゴ販売は、県外出荷量が前年を上回ったほか、消費地市場価格も幾分上昇し、県外市場販売額は前年を3割弱上回った。八戸港の水揚げは、数量が増加、金額は微増となりともに増加した。雇用情勢は、有効求人倍率が前月と同水準の0.79倍と引き続き高水準を維持している。

**○個人消費** 9月の**大型小売店販売額**(速報ベース、店舗調整後)は前年同月比△3.4%と6ヶ月連続のマイナスとなった。業態別では百貨店が同1.0%増、スーパーは同4.6%減となった。9月の**自動車販売台数**は登録車、届出車(軽自動車)合計が前年同月比2.1%増の5,819台と3ヶ月ぶりにプラスとなった。届出車が同1.4%減と3ヶ月連続のマイナスとなったものの、登録車が同5.6%増と3ヶ月ぶりにプラスとなった。

**○住宅投資** 9月の**新設住宅着工戸数**は全体で前年同月比17.7%減の550戸と5ヶ月連続のマイナスとなった。分譲住宅が同8.3%増となったものの、持家は同21.9%減、貸家は同9.6%減となった。

**○公共投資** 9月の**公共工事請負額**は全体で前年同月比8.0%減の224億1,500万円と3ヶ月連続のマイナスとなった。独立行政法人等が同277.6%増、市町村が同27.5%増、国が同51.5%減、県が同1.4%減となった。

**○一次産業** 農林水産省東北農政局の調査では、26年産水稻の県平均作柄(10月15日現在)は、10a当たりの予想収量が610kg、作況指数は「104」と見込まれている。

9月の**26年県産リンゴ販売**は、県外出荷量が前年同月比24.4%増、消費地市場価格が同0.8%上昇し、県外市場販売額は同27.9%増となった。9月の**八戸港水揚げ**は、数量が前年同月比9.0%増、金額は同0.9%増と、数量、金額ともに増加した。

**○生産活動** 8月の**鉱工業生産指数**(季節調整値)は前月比11.6%低下の99.5と、再び前月を下回った。食料品、電子部品・デバイス、業務用機械が低下した。原指数では前年同月比8.8%低下の98.8となった。

# 一 次 産 業

米

☆ 26年産米、作況指数は「104」

農林水産省東北農政局の調査によると、青森県の平成26年産水稻の県平均作柄(10月15日現在)は、作付面積(子実用)が48,600ha、予想収穫量が29万6,500トンとなり、10aあたりの予想収量が610kg、作況指数は「104」と見込まれている。8月に日照時間が平年を下回ったことから、登熟が「やや不良」と見込まれるものの、田植期から出穂期まで天候に恵まれ、全もみ数が「多い」となったことが寄与した。

作柄表示地帯別に10aあたりの予想収量と作況指数をみると、青森地帯は592kgの「104」、津軽地帯が631kgの「104」、南部・下北地帯が575kgの「106」と、いずれも平年を上回る作柄が見込まれている。

26年産水稻の作柄概況(10月15日現在)

作柄表示地帯	作付面積(ha) (子実用)	予想収穫量(t) (子実用)	10a当たり (kg)		穂数の多少	1穂当たり もみ数の多少	全もみ数 の多少	登熟の良否	作況指数
			予想収量	平年収量					
県全体	48,600	296,500	610	584	多い	やや多い	多い	やや不良	104
青森地帯	-	-	592	570	やや多い	やや多い	多い	やや不良	104
津軽地帯	-	-	631	609	多い	平年並み	多い	不良	104
南部・下北地帯	-	-	575	540	やや多い	平年並み	多い	平年並み	106

(注)穂数の多少、もみ数、登熟の良否は平年比較

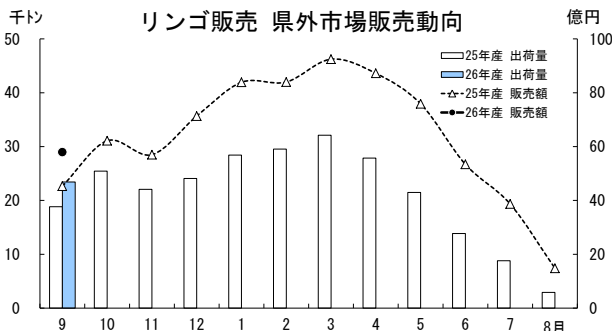
資料出所: 東北農政局青森農政事務所

りんご

☆ 県外市場販売額、前年同月比27.9%増

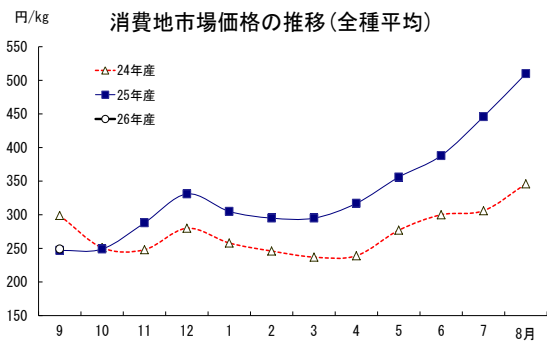
26年県産リンゴ販売、9月の県外出荷量は前年同月比24.4%増の23,426トンとなった。これは前3ヶ年の9月平均出荷量を26.2%下回る水準である。価格面をみると、消費地市場価格は「つがる」が前年同月と同水準の249円/kgとなり、合計でも前年同月比0.8%上昇、前3ヶ年比較で5.7%低下の249円/kgとなった。この結果、県外市場販売額は前年同月比27.9%増、前3ヶ年比較で24.6%増の57億9,600万円となった。

26年産県産リンゴの市場価格は、他県産中生種の出荷や競合果実の豊作基調のなか、入荷量が多かったことから、価格は平年を下回った。



資料出所: 県りんご果樹課

(注) 出荷量: 生食用(県外市場, 輸出, 小口他)



資料出所: 県りんご果樹課

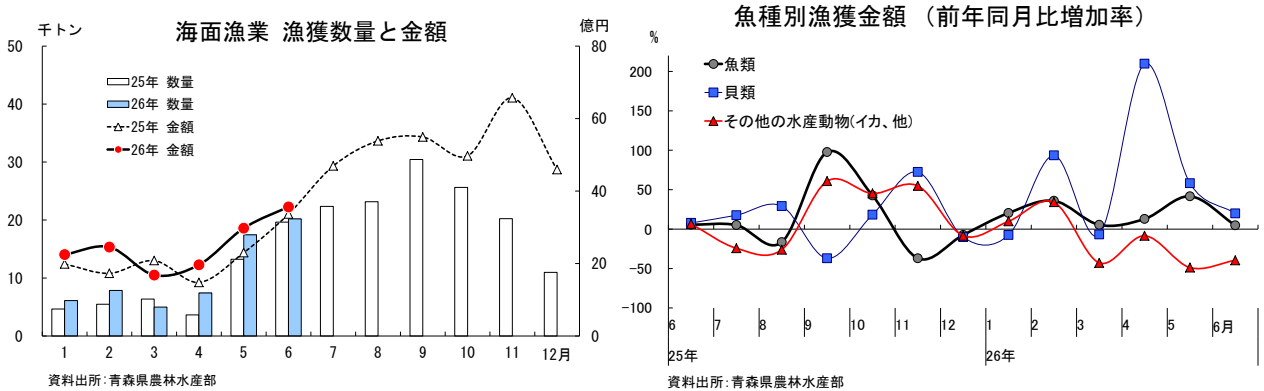
## 海面漁業

### ☆ 6月の漁獲数量、前年同月比2.8%増、金額5.5%増

6月の本県海面漁業は、漁獲数量が前年同月比2.8%増の20,202トン、一方、漁獲金額は同5.5%増の35億6,092万円となった。これは前年同月に比べ、スルメイカ（近海・生）やスケトウタラ、マイワシの漁獲数量は減少したものの、ホタテガイ（半成貝）の数量が大幅に増加したことなどによる。

魚種別漁獲金額は、魚類が同4.7%増、貝類が同19.9%増、その他の水産物が39.6%減となった。

主な魚種別にそれぞれ構成比をみると、漁獲数量はホタテガイ（半成貝）が62.1%、ホタテガイ（成貝）が13.8%、スケトウタラが7.3%、ブリが4.3%などとなった。漁獲金額は、ホタテガイ（半成貝）が45.1%、ホタテガイ（成貝）が16.8%、マグロが5.7%、ブリが4.5%、スケトウタラが3.2%などとなった。



## 八戸港水揚げ

### ☆ 9月水揚げ、前年同月比数量9.0%増、金額0.9%増

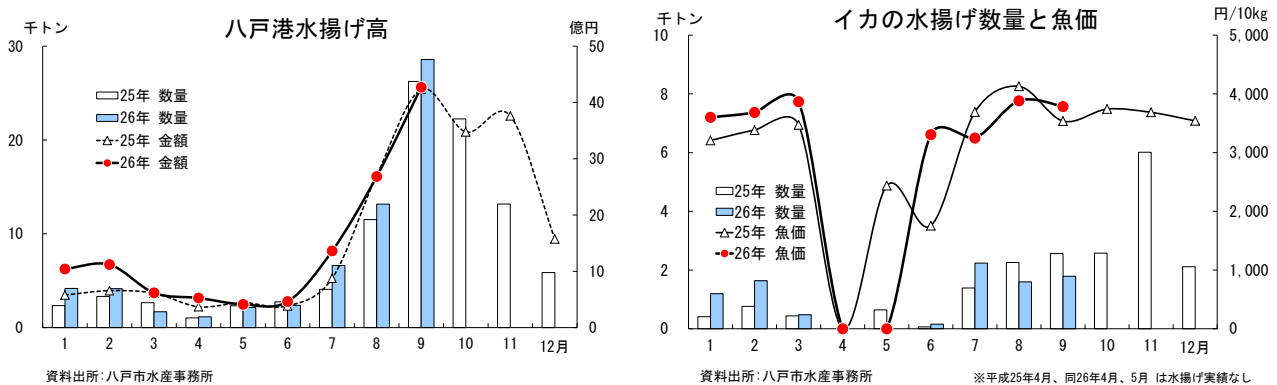
9月の八戸港水揚げは、数量が前年同月比9.0%増の28,591トン、金額が同0.9%増の42億7,047万円と、数量、金額ともに増加した。金額は9月としては2004年(50億6,899万円)以来の高水準だった。

イカ釣り漁は、前年実績に比べ近海は数量、金額ともに増加したものの、船凍スルメイカが数量、金額ともに減少し全体では数量は同30.3%減少の1,786トン、金額は同25.4%減の6億7,585万円だった。

大中型旋網漁は、前沖でゴマサバの豊漁があったものの、道東沖の大型マサバが不漁で、数量は同10.7%増加の22,475トン、金額は同2.3%減の25億2,442万円だった。

機船底引き網漁は、小型が数量、金額ともに減少したものの、スルメイカ主体の主力の中型底引き網が、数量が同40.4%増加の3,606トン、金額が同50.1%増加の8億9,780万円と前年を上回った。

1月から9月までの水揚げ累計は、数量が前年同期比13.9%増の6万4,097トン、金額は同15.1%増の125億362万円となった。



## 二次産業

### 鉱工業生産

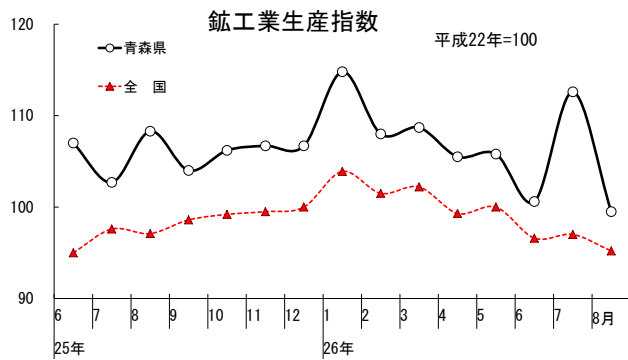
### ☆ 鉱工業生産指数、前月比 11.6%低下

8月の鉱工業生産指数(季節調整済速報値、平成22年=100)は前月比11.6%低下の99.5と、再び前月を下回った。主要6業種をみると、鉄鋼が同1.4%、パルプ・紙が同5.0%、電気機械が同15.2%上昇したものの、食料品が同8.7%、電子部品・デバイスが同7.1%、業務用機械が同12.7%それぞれ低下した。

このほかでは輸送用機械が同42.5%、家具が同55.6%、非鉄金属が同5.8%、はん用機械が同38.7%上昇したものの、化学が同76.5%、金属製品が同30.1%、窯業・土石製品が同5.1%それぞれ低下した。原指数では、生産用機械、鉄鋼、化学などが低下し、前年同月比8.8%低下の98.8となった。

業種別生産指数(平成26年8月)

業種 ( )内は一万分比ウェイト	季節調整済指数		原指数	
	平成22年=100	前月比(%)	平成22年=100	前年同月比(%)
鉱工業 (10,000.0)	99.5	△ 11.6	98.8	△ 8.8
食料品 (2,410.0)	104.4	△ 8.7	99.3	△ 3.0
鉄鋼 (1,200.9)	89.7	1.4	88.9	△ 22.3
電子部品・デバイス (1,048.2)	148.9	△ 7.1	148.5	15.3
業務用機械 (1,005.1)	91.6	△ 12.7	85.6	△ 13.7
パルプ・紙 (722.3)	98.8	5.0	95.6	9.9
電気機械 (429.2)	115.3	15.2	109.6	△ 14.5



資料出所: 県統計分析課

※(P)は速報値

(P)

資料出所: 県統計分析課

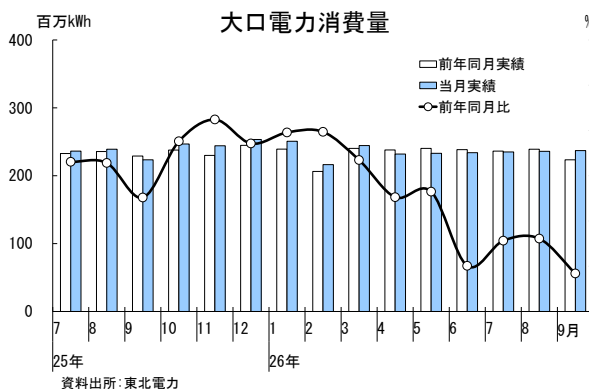
### 大口電力

### ☆ 6ヶ月連続マイナス、前年同月比 10.8%減

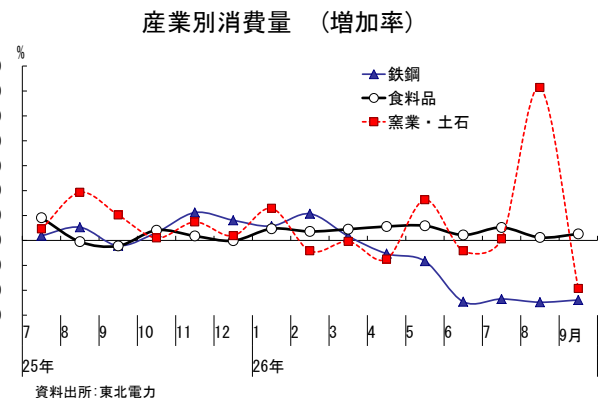
9月の県内大口電力消費量は、前年同月比10.8%減の1億9,928万kWhとなった。うち製造業は同14.4%減の1億3,930万kWhとなった。

製造業の大口電力消費量を主要業種別にみると、消費ウェートの高い鉄鋼が同23.9%減と大幅に落ち込んだほか、窯業・土石が同19.3%減、鉱業が同3.8%減、機械が同0.8%減、非鉄金属が同0.5%減などとなった。一方、化学は同26.3%増、食料品は同2.6%増、パルプ・紙は同2.5%増などとなった。

当月の県内大口電力消費量は、消費ウェートの高い鉄鋼を始め、窯業・土石などが前年実績を下回り、全体では6ヶ月連続でマイナスとなった。



資料出所: 東北電力



資料出所: 東北電力

## 公共工事

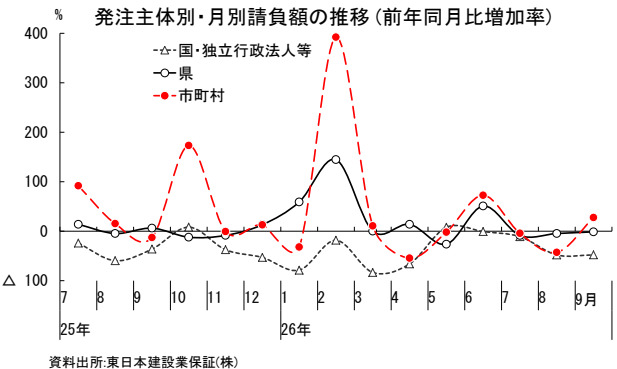
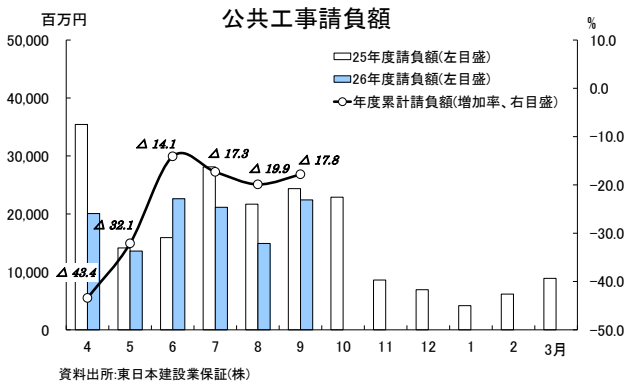
### ☆ 前年同月比 8.0%減、3ヶ月連続マイナス

9月の東日本建設業保証（株）の保証取扱いによる公共工事請負額は、前年同月比 8.0%減の 224 億 1,500 万円と 3ヶ月連続でマイナスとなった。

当月の請負額は、国は国土交通省や農林水産省が減少し、同 51.5%減の 26 億 8,100 万円となった。県は県土整備部が増加したものの農林水産部が減少し、同 1.4%減の 125 億 4,600 万円となった。

一方、独立行政法人等は弘前大学などで増加し、同 277.6%増の 2 億 2,900 万円となった。市町村は五所川原市、弘前市、平川市、青森市などで増加し、同 27.5%増の 59 億 9,700 万円となった。

当月は、独立行政法人等と市町村が増加したものの、国と県が前年実績を下回り全体を押し下げた。



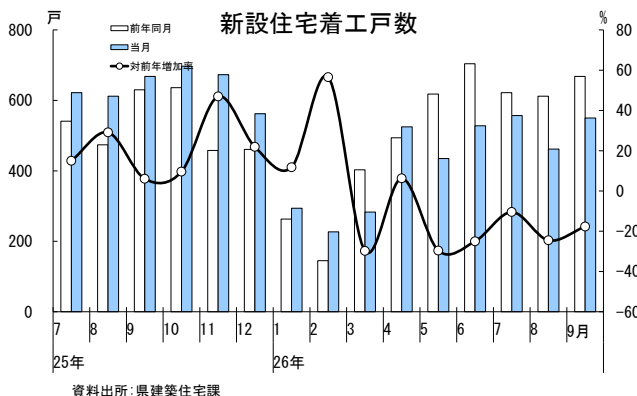
## 住宅着工

### ☆ 前年同月比 17.7%減、5ヶ月連続マイナス

9月の県内新設住宅着工戸数は、前年同月比 17.7%減の 550 戸と 5ヶ月連続でマイナスとなった。利用関係別では、持家が同 21.9%減、貸家が同 9.6%減、給与住宅が同 100.0%減、分譲住宅が同 8.3%増となった。

地域別にみると、青森市、弘前市、八戸市、黒石市、五所川原市、三沢市、むつ市、平川市、郡部で減少し、十和田市、つがる市で増加した。

持家は、三沢市、むつ市、平川市は同水準、青森市、弘前市、八戸市、黒石市、十和田市、郡部は前年実績を下回った。貸家は、青森市、八戸市で増加したものの、弘前市、三沢市、郡部で減少した。分譲住宅は、八戸市で増加した。当月の新設住宅着工は、駆け込み需要の反動減の影響などから、低調な動きが続いている。



### 利用関係別戸数

(単位: 戸, %)

	26年 9月	25年 9月	前年 同月比
持家	363	465	△ 21.9
貸家	161	178	△ 9.6
給与住宅	-	1	△ 100.0
分譲住宅	26	24	8.3
総戸数	550	668	△ 17.7

資料出所: 県建築住宅課

# 三 次 産 業

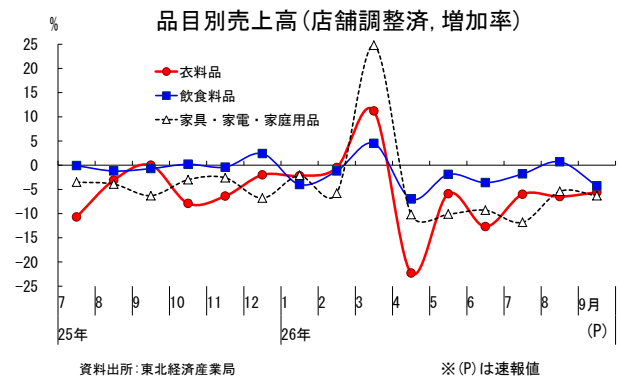
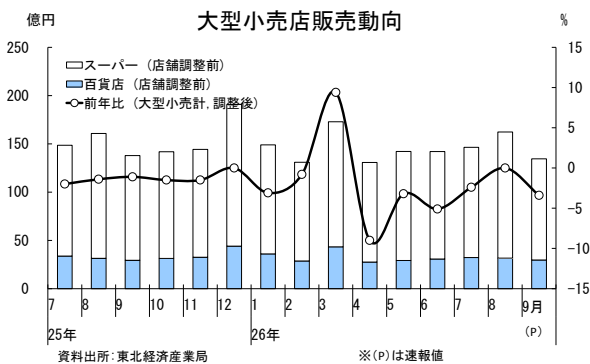
## 大型小売店販売

☆ 前年同月比 3.4%減、6ヶ月連続のマイナス

9月の県内大型小売店販売額(速報ベース、店舗調整後)は、前年同月比 3.4%減と6ヶ月連続のマイナスとなった。業態別では百貨店が同 1.0%増、スーパーは同 4.6%減となった。

品目別では、衣料品が同 5.6%減、家具・家電・家庭用品が同 6.3%減、ウエートの高い飲食料品が同 4.3%減などとなった。衣料品は、秋物商品の出足は良かったものの中旬から鈍い動きとなった。スーツなどの紳士服に動きがみられたものの、婦人服や寝具などがふるわず前年を下回った。食料品は精肉、惣菜が好調だったものの、野菜、菓子、調味料などがふるわず前年を下回った。家具・家電・家庭用品は、家具、家電製品は不振、家庭用品はキッチン用品などが不振で前年を下回った。

当月は、品目では、その他の商品で幾分上昇したものの、ウエートの高い衣料品や飲食料品が低下し全体を押し下げたほか、多くの品目で低下した。

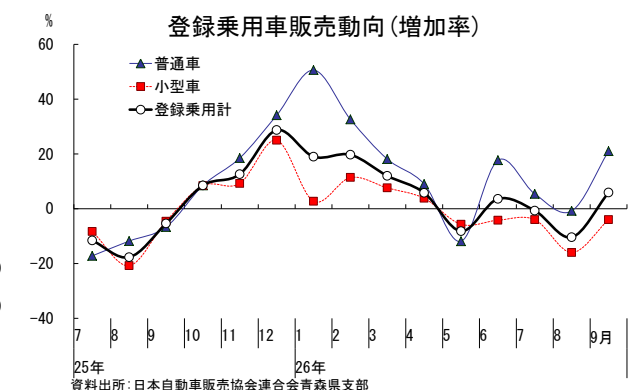
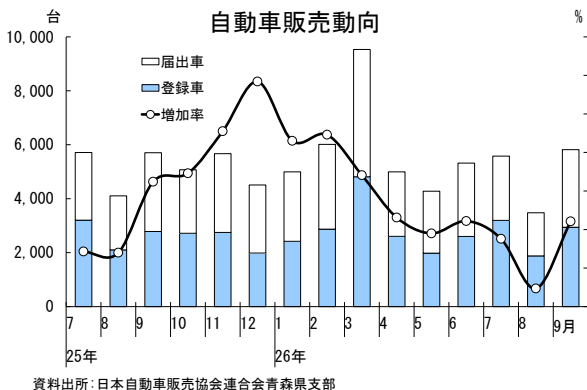


## 自動車販売

☆ 前年同月比 2.1%増、3ヶ月ぶりにプラス

9月の自動車販売台数は、登録車、届出車(軽自動車)合計で前年同月比 2.1%増と3ヶ月ぶりにプラスとなった。内訳別にみると、登録車は小型乗用車が同 4.0%減となったものの、普通乗用車は同 21.0%増、貨物車は同 3.9%増となり、登録車合計では同 5.6%増と3ヶ月ぶりにプラスとなった。届出車は乗用車が同 0.3%減、貨物車が同 5.1%減となり、届出車合計では同 1.4%減と3ヶ月連続のマイナスとなった。届出車を含む乗用車については、登録乗用車合計が同 5.9%増、届出乗用車合計が同 0.3%減となり、全体では同 2.8%増と3ヶ月ぶりにプラスとなった。

県内の自動車販売は、届出車が乗用車、貨物車ともに前年同月を下回ったものの、登録車は、普通乗用車と貨物車の増加が寄与し3ヶ月ぶりに前年同月を上回り、全体では3ヶ月ぶりにプラスとなった。



# 物価・雇用・金融

## 消費者物価指数

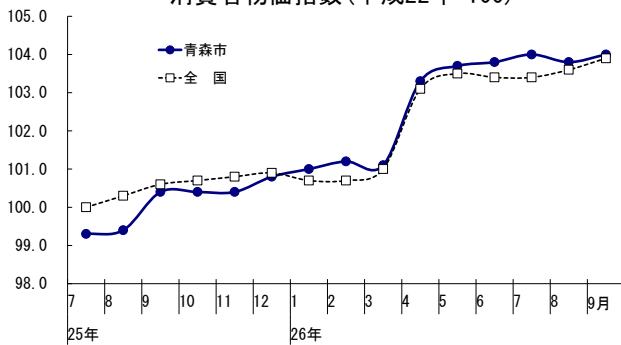
☆ 前月比 0.2%上昇、前年同月比 3.6%上昇の 104.0

9月の青森市の消費者物価指数(平成22年=100)は前月比0.2%上昇、前年同月比3.6%上昇の104.0となった。主要費目別に前月と比べると、「被服及び履物」が被服関連サービスなどの値上がりにより1.5%上昇、「食料」が生鮮野菜などの値上がりにより1.3%上昇した。

前年同月との比較では、教養娯楽用耐久財の値上がりによる「教養娯楽」(7.0%)、生鮮魚介や生鮮野菜の値上がりによる「食料」(6.1%)、電気代などの値上がりによる「光熱・水道」(3.9%)、塾など補習教育の値上がりによる「教育」(3.3%)などの変動が大きかった。

なお、「生鮮食品を除く総合指数は」前月比0.2%下落、前年同月比3.1%上昇の103.2となった。

消費者物価指数(平成22年=100)



資料出所: 県統計分析課

費目別指数の動き(平成26年9月)

	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総合指数	104.0	0.2	3.6
食料	104.8	1.3	6.1
住居	99.2	0.2	1.1
光熱・水道	121.6	△ 0.8	3.9
家具・家事用品	88.8	0.1	0.3
被服及び履物	104.2	1.5	2.6
保健医療	98.6	△ 0.3	0.9
交通・通信	106.0	△ 0.9	1.6
教育	100.0	0.0	3.3
教養娯楽	97.9	△ 0.5	7.0
諸雑費	108.9	0.4	4.7

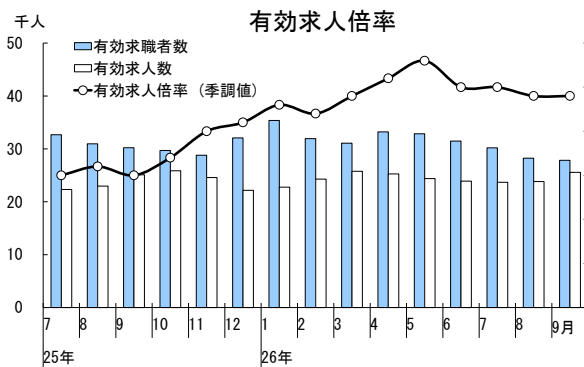
資料出所: 県統計分析課

## 雇用動向

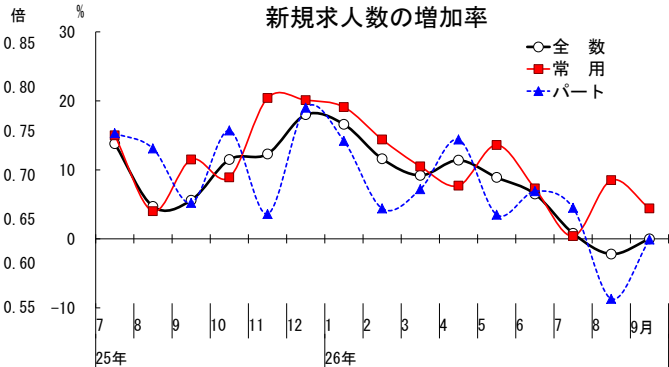
☆ 有効求人倍率、前月と同水準の 0.79 倍

9月の求人・求職動向は、有効求人数が前年同月比1.8%増の2万5,563人、有効求職者数は同7.9%減の2万7,850人となった。この結果、有効求人倍率(季節調整値)は前月と同水準の0.79倍となった。新規求人の動きをみると、常用求人数が前年同月比4.4%増、臨時・季節求人数が同15.4%減、パート求人数が同0.1%減となり、全数では同0.0%減の10,336人となった。主要産業別の新規求人動向では、製造業、運輸業・郵便業、医療・福祉等、複合サービス事業、サービス業などで増加したものの、卸売業、小売業、宿泊業・飲食サービス業、生活関連サービス業・娯楽業で減少がみられた。

県内の雇用状況は、有効求人倍率が引き続き高水準で推移しており、改善基調は継続しているものとみられる。



資料出所: 青森労働局



資料出所: 青森労働局



## 企業倒産

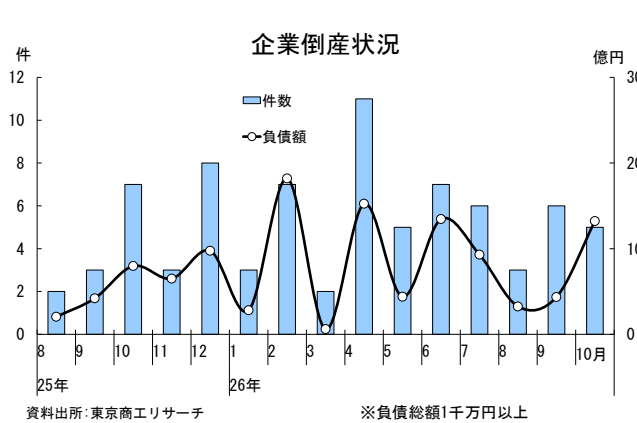
### ☆ 大型倒産発生により負債総額 13 億 2,200 万円

10月の県内企業倒産は、件数が前年同月より2件減少の5件、負債総額は同5億2,400万円増の13億2,200万円となった。前月比では件数が1件減、負債総額が8億8,700万円増となった。業種別では、製造業が1件、不動産業が1件、サービス業他が3件となった。

地域別では八戸市、三沢市が各2件、弘前市が1件の発生となった。

当月の県内企業倒産は、引き続き倒産件数が一桁台で推移し小康状態を保っているものの、10億円を超える大型倒産が発生し負債総額を押し上げた。

単月での従業員被害者数は114名で、1月からの年間累計で481名となった。



### 業種別・原因別件数 (平成26年10月)

業種	件数	原因	件数
一次産業・鉱業		放漫経営	
建設業		過小資本	
製造業	1	他社倒産の余波	
卸売業		既往のシワ寄せ	1
小売業		信用低下	
金融・保険業		販売不振	4
不動産業	1	売掛金回収難	
運輸業		在庫状況悪化	
情報通信業		設備投資過大	
サービス業 他	3	その他	
合計	5	合計	5

資料出所: 東京商工リサーチ (負債総額1千万円以上)

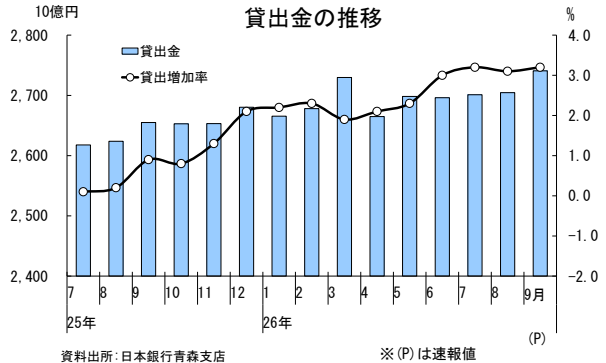
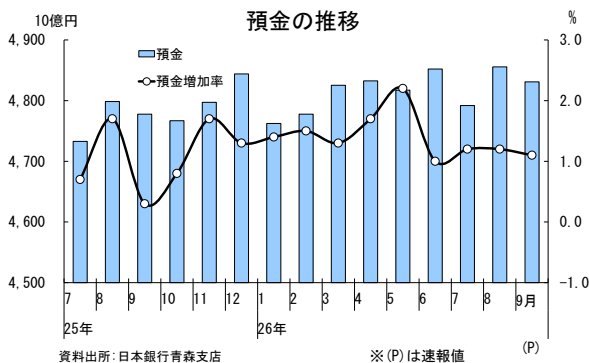
## 金融動向

### ☆ 預金、貸出金とも17ヶ月連続のプラス

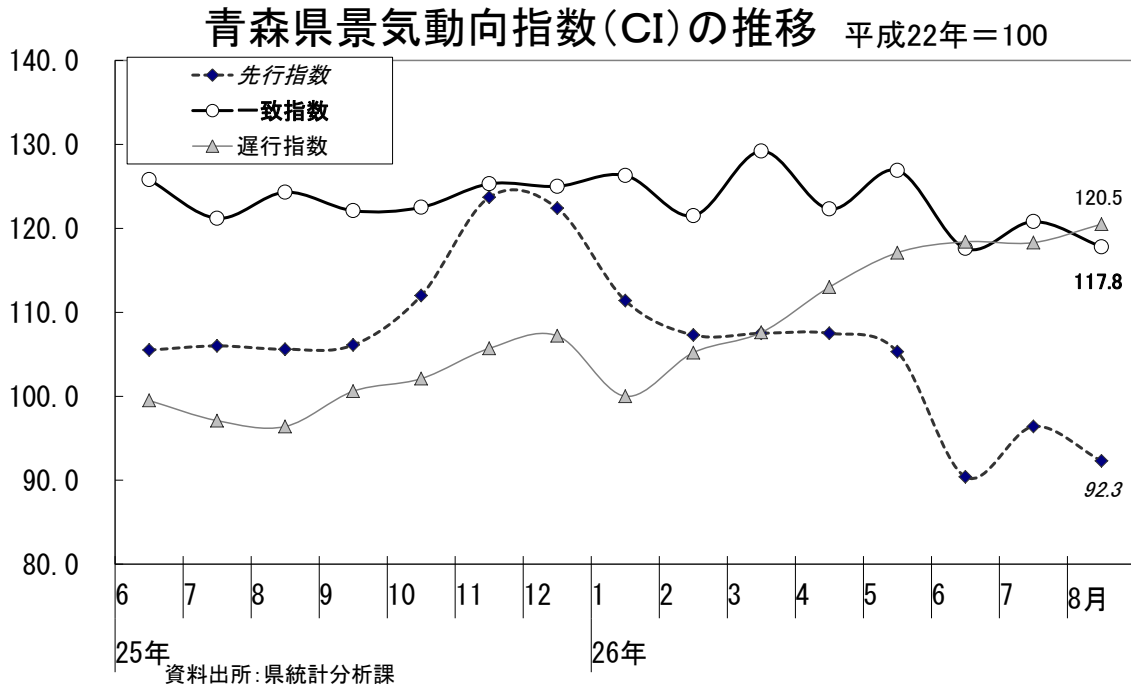
9月末の県内金融機関(銀行・信用金庫・信用組合)の預金・貸出金残高(速報値)は、実質預金が前年同月比1.1%増の4兆8,309億円、貸出金は同3.2%増の2兆7,407億円となり、8月に比べ前年同月比のプラス幅は、預金は縮小、貸出は拡大と違いはあったものの、ともに17ヶ月連続のプラスとなった。

預金は、法人、個人および公金預金の増加により前年を上回った。

一方、貸出金は、法人向けが前年を下回ったものの、個人および地公体向けが前年を上回って推移したことから、全体では前年を上回った。



# 青森県景気動向指数



## 一致指数 採用系列の寄与度

上段: 寄与度がプラスを○、マイナスを●で表示  
下段: 寄与度

採用系列名	26年 3月	4月	5月	6月	7月	8月
1. 大型小売店販売額(既存店)	○ 3.17	● △ 3.94	○ 2.17	● △0.56	○ 0.88	○ 0.86
2. 旅行取扱高	○ 1.46	● △ 1.50	○ 1.66	● △0.18	● △0.26	● △0.56
3. 鉱工業生産指数	○ 0.17	● △ 1.11	○ 0.05	● △1.79	○ 2.63	● △2.77
4. 大口電力使用量	● △ 0.05	● △ 0.86	○ 0.67	● △2.79	○ 0.03	○ 0.64
5. 有効求人倍率(全数)	○ 0.83	○ 0.81	○ 0.78	● △2.71	● △0.59	● △1.25
6. 輸入通関実績(八戸港)	○ 0.14	○ 1.16	○ 0.69	○ 0.25	● △0.86	○ 0.25
7. 東北自動車道IC利用台数	○ 0.57	● △ 1.52	● △1.42	● △0.39	○ 0.32	● △0.19

資料出所: 県統計分析課

### ※ 景気動向指数 (CI: Composite Index) とは

1. 前月と比較した採用系列の変化量を合成し、基準年度を100として指数化したもので、景気に敏感な指標の量的な動きを合成した指標である。CIには次の3指数がある。

- 先行指数・・・景気に先行して動くことから景気の動きの予測に利用
- 一致指数・・・景気とほぼ一致して動くことから景気の現状把握に利用
- 遅行指数・・・景気に遅れて動くことから事後的な確認に利用

2. CIは景気変動の大きさ(景気の山の高さや谷の深さ)やテンポ(景気の拡張や後退の勢い)を測定する。CIが上昇している時が景気の拡張期(好況)であり、低下している時が景気の後退期(不況)である。

## 国内景気

### ☆概況

国内景気は、このところ弱さがみられるが、緩やかな回復基調が続いている。個人消費は持ち直しの動きが続いているものの、このところ足踏みがみられる。住宅建設は緩やかに減少している。生産はこのところ減少している。業況判断は大企業製造業ではやや改善している。国内企業物価は横ばいとなっている。消費者物価はこのところ上昇テンポが鈍化している。

### ☆大型小売店販売（既存店ベース）

#### —前年同月比 1.7%増—

9月の大型小売店販売は前年同月比 1.7%増となった。業態別にみると、百貨店が同 1.6%増、スーパーが同 1.7%増となった。商品別にみると、衣料品が同 1.8%増、飲食料品が同 2.2%増、その他商品は同 0.5%増となった。

### ☆住宅建設

#### —7ヶ月連続のマイナス—

9月の新設住宅着工戸数は前年同月比 14.3%減の 7万 5,882 戸と 7ヶ月連続のマイナスとなった。利用関係別にみると、貸家が同 5.7%減と 3ヶ月連続の減少となったほか、持家は同 23.4%減、分譲住宅も同 15.3%減とそれぞれ 8ヶ月連続のマイナスとなった。

### ☆企業倒産

#### —件数 5ヶ月ぶり増加、負債総額 8ヶ月連続減少—

9月の企業倒産は、件数が前年同月比 0.9%増の 827 件、負債総額は同 28.1%減の 1,368 億円。倒産件数は 5ヶ月ぶりに増加、負債総額は 8ヶ月連続減少。負債総額の減少は、負債 100 億円以上の大型倒産が 2ヶ月ぶりに発生せず、5,000 万円以下の小規模企業倒産の増加に起因。

### ☆為替動向

#### —10月末終値 111 円 22 銭—

10月の東京為替市場は前月末から反落、109 円台後半でスタート。上旬は米金利の先高感などから一時 110 円台まで円安が進むも、日経平均株価の下落などから 108 円を挟む動きとなった。中旬以降は米経済の先行き不透明感や日経平均株価の下落などから一時 105 円台後半まで円高が進んだ。月末には日銀の追加金融緩和決定を受け 111 円 50 銭台まで円安が進み、月末終値は 111 円 22 銭。

### ☆鉱工業生産指数

#### —前月比 2.7%上昇—

9月の鉱工業生産指数は前月比 2.7%上昇の 97.8(季節調整値)と再び上昇。輸送機械、電子部品・デバイス、電気機械が上昇に寄与。一方、化学(除、医薬品)が低下した。なお生産予測調査では、10月は電子部品・デバイス、輸送機械、情報通信機械の上昇から当月比 0.1%低下を予測。

### ☆新車販売（除く軽自動車）

#### —3ヶ月連続マイナス、前年同月比 9.1%減—

10月の国内新車販売は前年同月比 9.1%減の 24 万 511 台と 3ヶ月連続でマイナスとなった。内訳別では、乗用車が同 11.3%減、貨物車は同 6.6%増となった。乗用車は普通乗用車が同 6.2%減と再びマイナス、小型乗用車は同 15.7%減と 3ヶ月連続のマイナスとなった。

### ☆完全失業率

#### —前月比 0.1ポイント上昇の 3.6%—

9月の完全失業率は前月比 0.1ポイント上昇の 3.6%となった。完全失業者数は前年同月比 25 万人減の 233 万人となり、52ヶ月連続で減少した。求職理由別にみると、勤め先や事業の都合が同 11 万人減の 46 万人、自己都合が同 3 万人増の 96 万人などとなった。

### ☆消費者物価指数

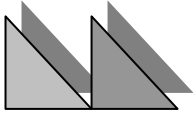
#### —前月比 0.2%上昇の 103.9—

9月の全国消費者物価指数(2010年=100)は前月比 0.2%上昇、前年同月比 3.2%上昇の 103.9 となった。前月に比べ、食料、被服及び履物などが上昇した。生鮮食品を除く総合指数は前月と同水準、前年同月比 3.0%上昇の 103.5 となった。

### ☆国際収支

#### —経常収支、3ヶ月連続で黒字—

9月の経常収支額は 9,630 億円と 3ヶ月連続で黒字となった。黒字幅は前年同月比 3,683 億円拡大した。第二次所得収支が赤字幅を拡大したものの、貿易・サービス収支が赤字幅を縮小し、第一次所得収支の黒字幅が拡大した。内訳は、貿易・サービス収支が 9,228 億円の赤字、第二次所得収支が 1,494 億円の赤字。第一次所得収支は 2 兆 352 億円の黒字。



# 今月の統計

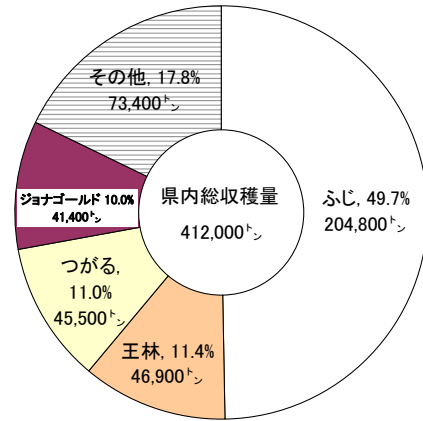
## 平成25年産 青森県産リンゴの概況

### 農

林水産省の調べによると、平成25年産の全国のリンゴ収穫量は、前年産比6.6%減の74万1,700トンと減少した。青森県産リンゴの収穫量は同7.6%減の41万2,000トンとなり、全国の55.5%を占めた。収穫量は、昨春の気温が平年より低く、開花期が通常より2週間ほど遅れ実も小玉になったことが影響し前年を下回った。

青森県産リンゴの収穫量を品種別にみると、「ふじ」が20万4,800トン(49.7%)と最も多く、次いで「王林」が4万6,900トン(11.4%)、「つがる」が4万5,500トン(11.0%)、「ジョナゴールド」が4万1,400トン(10.0%)などの順となった。

平成25年産 青森県産リンゴの収穫量内訳



資料出所: 農林水産省農林水産統計

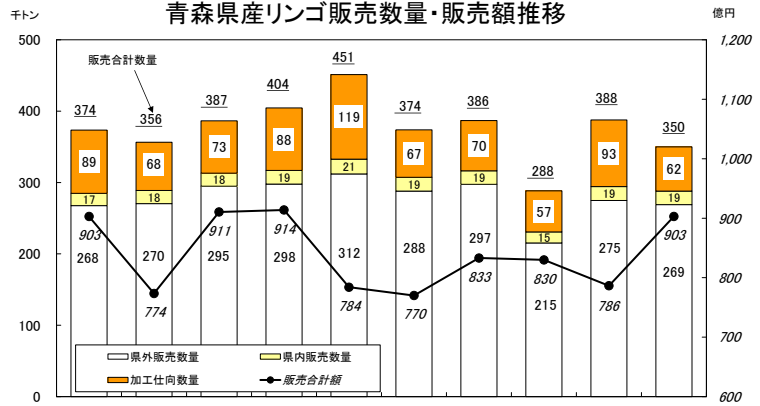
### 平

平成25年産の県産リンゴの販売実績(平成25年9月~26年8月)をみると、販売合計数量は前年度比9.7%減の34万9,944トンとなった。うち県外販売数量は同2.1%減の26万9,001トン、県内販売数量は同1.9%減の1万9,096トン、加工仕向数量は同33.7%減の6万1,847トンと、それぞれ前年度を下回った。

価格面をみると、全種平均産地価格が前年度比16.5%上昇の191円/kg、同消費地市場価格は同20.5%上昇の317円/kgと24年産を上回った。

25年産は、前年産に比べ販売数量が減少したものの、品質、着色ともに良好で終盤まで高値が続き、その結果、販売合計金額は同14.8%増の903億3百万円と、前年産を上回った。なお900億円台に乗ったのは平成19年産の914億円以降6年ぶりである。

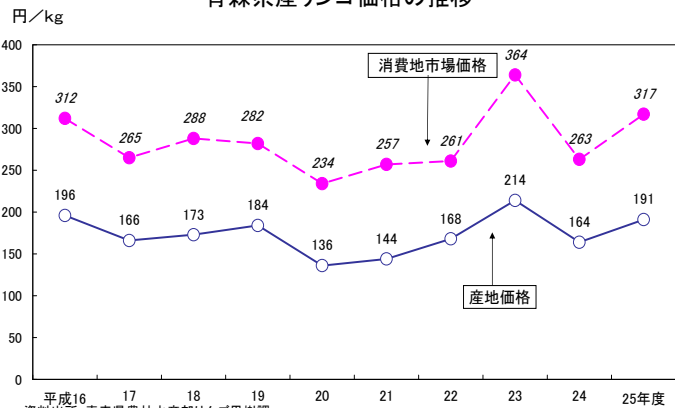
青森県産リンゴ販売数量・販売額推移



資料出所: 青森県農林水産部りんご果樹課

※四捨五入のため数量合計は内訳と一致しない場合がある。

青森県産リンゴ価格の推移



資料出所: 青森県農林水産部りんご果樹課

県内

**2日 平成26年度上半期の企業倒産、件数・負債総額とも増加**

信用調査会社の東京商工リサーチ青森、八戸両支店がまとめた平成26年度上半期(4月～9月)の県内企業倒産状況(負債額1,000万円以上)によると、件数は前年同期比11件増の38件、負債総額は同22億1,500万円増の49億9,700万円となった。

**10日 平成25年産県産リンゴ販売額、6年ぶりに900億円台**

県の発表によると、平成25年産県産リンゴの販売額は前年比116億5,100万円増(同14.8%増)の903億300万円となり、平成19年産の914億円以降6年ぶりに900億円台となった。

**19日 「第9回全国B-1グランプリ」、十和田バラ焼きゼミナールがゴールドグランプリ**

福島県郡山市で開催されたご当地グルメによるまちおこしの祭典、「第9回全国B-1グランプリ」で、十和田市の「十和田バラ焼きゼミナール」が1位のゴールドグランプリを初受賞した。

**20日 平成26年産米、1等米比率88.0%**

東北農政局青森地域センターが発表した平成26年産米の検査結果(9月末現在、速報値)によると、粒の形状や色つきなどの品質が一定基準を満たした1等米比率は、水稲うるち玄米で88.0%となり、前年同期(94.6%)を6.6ポイント下回った。

**22日 新規高卒者の県内求人倍率、過去最高の1.49倍**

青森労働局が発表した来春の県内新規高卒者に対する求人状況(9月末現在)によると、県内企業の求人数は前年同月比841人増の3,198人となった。求人倍率は同0.37ポイント増の1.49倍で、同局に統計が残る平成6年3月卒以降最高となった。

国内

**7日 日本人3人、ノーベル物理学賞受賞**

スウェーデンの王立科学アカデミーは、平成26年のノーベル物理学賞を、少ない電力で明るく青色に光る発光ダイオード(LED)の発明と実用化に貢献した赤崎勇氏(名城大学教授)、天野浩氏(名古屋大学教授)、中村修二氏(米カリフォルニア大学教授)の3人に授与すると発表した。

**8日 平成24年度国民医療費、6年連続過去最高の39兆2,117億円**

厚生労働省の発表によると、平成24年度に病気やけがの治療で全国の医療機関に支払われた医療費の総額(国民医療費)が、前年度比6,267億円増(同1.6%増)の39兆2,117億円となった。国民1人当たりでは同5,600円増(同1.9%増)の30万7,500円で、いずれも6年連続で過去最高を更新した。

**9日 機械受注、3ヶ月連続で拡大**

内閣府が発表した8月の機械受注統計(季節調整値)によると、民間設備投資の先行指標となる「船舶・電力を除く民需」の受注額が前月比4.7%増の8,078億円と、3ヶ月連続で拡大した。

**20日 日銀、東北の景気判断を小幅引き下げ**

日本銀行は10月の地域経済報告(さくらりポート)で、東北の景気の現状判断を「回復を続けている」から「緩やかに回復している」へ小幅に引き下げ、残り8地域の判断は据え置いた。一部地域で判断を引き下げるのは1年9ヶ月ぶりとなる。

**21日 10月の月例報告、景気の基調判断を2ヶ月連続で下方修正**

内閣府は10月の月例経済報告で、景気の基調判断を「このところ弱さがみられるが、緩やかな回復基調が続いている」とし、2ヶ月連続で下方修正した。

**22日 平成26年度上半期の貿易赤字、上半期過去最大の5兆4,271億円**

財務省が発表した平成26年度上半期(4月～9月)の貿易統計(速報、通関ベース)によると、輸出から輸入を差し引いた貿易収支は5兆4,271億円の赤字となった。前年度上半期(4兆9,963億円の赤字)を上回り、年度上半期ベースでは比較可能な昭和54年以降で最大の赤字となった。

# 全国の主要経済指標

年次及び月	日証券発行高 (平均残高・億円)	国内銀行勘定(月末)		国内銀行貸出約定 平均金利 (年利%)	企業倒産		鉱工業 生産指数 2010年=100	新設住宅 着工戸数 (戸)	公共工事 請負額 (億円)	大型小売店 販売額 (億円)
		実質預金 (10億円)	貸出残高 (10億円)		件数 (件)	負債総額 (億円)				
2008 (H20)	760,537	557,055	436,848	1.865	15,646	122,920	110.7	1,093,519		209,511
2009 (H21)	764,627	569,486	428,567	1.655	15,480	69,301	86.5	788,410		197,758
2010 (H22)	771,516	578,485	420,417	1.551	13,321	71,608	100.0	813,126		195,791
2011 (H23)	792,805	598,688	425,858	1.452	12,734	35,929	97.2	834,117		195,933
2012 (H24)	809,455	613,690	433,824	1.364	12,124	38,346	97.8	882,797	128,456	195,916
2013 (H25)	835,998	640,633	449,134	1.256	10,855	27,823	97.0	980,025	150,536	197,774
2013 (H25) 7	834,873	629,734	439,803	1.296	1,025	1,996	97.6	84,801	13,038	17,127
8	835,572	629,421	440,521	1.291	819	1,663	97.1	84,343	14,102	15,823
9	833,865	630,050	444,827	1.277	820	1,902	98.6	88,539	18,916	15,059
10	835,418	630,216	441,348	1.277	959	1,553	99.2	90,226	14,130	15,911
11	839,935	634,827	444,172	1.271	862	1,379	99.5	91,475	11,049	16,963
12	870,015	640,633	449,134	1.258	750	1,344	100.0	89,578	12,377	21,399
2014 (H26) 1	871,198	637,558	446,922	1.254	864	3,151	103.9	77,843	7,918	17,117
2	854,749	638,211	446,974	1.250	782	1,162	101.5	69,689	10,912	14,690
3	861,177	651,751	453,240	1.234	814	1,170	102.2	69,411	22,945	19,562
4	860,389	650,546	448,609	1.233	914	1,411	99.3	75,286	13,563	14,677
5	861,273	649,604	449,145	1.229	834	1,726	100.0	67,791	10,203	15,929
6	856,484	652,645	450,474	1.222	865	1,920	96.6	75,757	16,182	16,317
7	863,217	644,584	449,331	1.219	882	1,295	97.0	72,880	15,774	17,174
8	864,799	646,162	450,387	1.214	727	1,358	95.2	73,771	13,974	16,263
9	862,960				827	1,368	97.8	75,882	15,921	15,313
前月比%	-0.2	0.2	0.2	-0.005%ポイント	13.8	0.8	2.7	2.9	13.9	1.2
前年同月比%	3.5	2.7	2.2	-0.077%ポイント	0.9	-28.1	0.6	-14.3	-15.8	0.5
資料出所	日本銀行				東京商工リサーチ		経済産業省	国土交通省	経済産業省	

※企業倒産は負債額1千万円以上

※鉱工業生産指数の前年同月比及び年次は原指数による

※大型小売店販売額の前月比は季節調整済増減率、前年同月比は既存店ベース増減率

年次及び月	新車登録 届出台数 (乗用車) (千台)	国内企業 物価指数 2010年=100	消費者 物価指数 2010年=100	景気動向 指数 (一致) 2010年=100	完全 失業率 (季節調整) (%)	日経平均株価 (東証1部 225銘柄) (円)	国際収支 (経常) (億円)	外貨 準備高 (年々末) (100万ドル)	東京 外為相場 (月々平均) (円/US\$)	日経 商品指数 (月末42種) ('70年=100)
2008 (H20)	4,228	105.7	102.1	-	4.0	8,859.56	163,798	1,030,647	103.39	147.854
2009 (H21)	3,924	100.1	100.7	-	5.1	10,546.44	132,867	1,049,397	93.61	153.228
2010 (H22)	4,212	100.0	100.0	-	5.1	10,228.92	171,706	1,096,185	87.75	168.232
2011 (H23)	3,525	101.5	99.7	-	4.6	8,455.35	95,507	1,295,841	79.76	165.195
2012 (H24)	4,572	100.6	99.7	-	4.3	10,395.18	48,237	1,268,125	79.79	169.679
2013 (H25)	4,562	101.9	100.0	-	4.0	16,291.31	33,061	1,266,815	97.71	188.334
2013 (H25) 7	402	102.1	100.0	108.2	3.8	13,668.32	6,004	1,254,033	99.71	176.854
8	311	102.4	100.3	108.5	4.1	13,388.86	1,571	1,254,204	97.87	180.025
9	446	102.7	100.6	109.4	4.0	14,455.80	5,948	1,273,446	99.24	180.555
10	354	102.5	100.7	110.6	4.0	14,327.94	-1,543	1,276,751	97.85	181.605
11	379	102.5	100.8	111.2	4.0	15,661.87	-5,969	1,275,352	100.03	184.132
12	359	102.8	100.9	111.8	3.7	16,291.31	-6,799	1,266,815	103.46	188.334
2014 (H26) 1	434	103.0	100.7	114.6	3.7	14,914.53	-15,861	1,277,058	103.94	187.995
2	491	102.8	100.7	113.0	3.6	14,841.07	6,077	1,288,206	102.13	189.005
3	666	102.8	101.0	114.6	3.6	14,827.83	1,597	1,279,346	102.27	187.695
4	293	105.7	103.1	111.1	3.6	14,304.11	2,138	1,282,822	102.56	187.313
5	304	106.0	103.5	111.0	3.5	14,632.38	5,112	1,283,920	101.79	186.105
6	379	106.2	103.4	109.3	3.7	15,162.10	-3,679	1,283,921	102.05	187.031
7	391	106.6	103.4	109.9	3.8	15,620.77	P 4,167	1,276,027	101.72	187.984
8	281	106.4	103.6	108.3	3.5	15,424.59	P 2,871	1,278,011	102.96	187.760
9	432	106.4	103.9	P 109.7	3.6	16,173.52	P 9,630	1,264,405	107.09	186.677
前月比%	53.5	0.0	0.2	1.4ポイント	0.1%ポイント	4.9	-	-1.1	4.0	-0.6
前年同月比%	-3.2	3.6	3.2	-	-0.4%ポイント	11.9	61.9	-0.7	7.9	3.4
資料出所	自販協連合会	日本銀行	総務省	内閣府	総務省	日経新聞社	財務省	日本銀行	日経新聞社	

※日経平均株価は年末、月末の終値ベース

# 青森県の主要経済指標・各種統計 1

年次及び月	人口 (推計)		日銀券発行 (-) 還収超額 (億円)	県内金融機関		企業倒産(負債額1千万円以上)		毎月勤労統計調査	
	(人)	社会動態(人) (転入-転出)		実質預金 (億円)	貸出残高 (億円)	件数 (件)	負債総額 (百万円)	現金給与総額 (円)	総実労働時間 (時間)
2008 (H20)	1,406,738	-8,573	-601	43,889	27,585	135	54,700	270,324	155.0
2009 (H21)	1,392,976	-6,286	-639	45,183	27,167	102	40,856	254,409	154.2
2010 (H22)	1,380,834	-5,082	-1,062	45,718	26,717	79	28,409	259,231	154.6
2011 (H23)	1,371,440	-3,465	-693	47,408	26,781	73	34,830	254,469	154.8
2012 (H24)	1,361,053	-5,311	-1,287	47,633	26,780	57	52,781	253,142	155.0
2013 (H25)	1,347,650	-5,925	-1,762	48,252	27,298	58	11,199		
2013 (H25) 7	1,337,580	6	-64	47,328	26,177	6	620	272,536	158.7
8	1,337,098	74	-143	47,985	26,238	2	205	232,813	155.0
9	1,336,664	65	-95	47,776	26,550	3	420	222,327	155.0
10	1,336,206	-24	-225	47,669	26,528	7	798	226,450	159.5
11	1,335,656	-140	-173	47,972	26,531	3	650	231,174	160.2
12	1,334,803	-318	-621	48,440	26,804	8	975	423,733	155.7
2014 (H26) 1	1,333,729	-132	349	47,623	26,655	3	281	232,007	147.2
2	1,332,587	-264	-182	47,777	26,780	7	1,820	216,913	152.2
3	1,331,624	-5,127	-198	48,252	27,298	2	60	225,701	153.3
4	1,325,767	244	-209	48,326	26,649	11	1,524	227,349	160.8
5	1,325,297	-260	15	48,172	26,982	5	438	222,300	155.0
6	1,324,485	-194	-217	48,521	26,962	7	1,345	349,982	159.5
7	1,323,719	-81	-109	47,919	27,010	6	930	264,961	159.2
8	1,323,182	-189	-194	48,556	27,045	3	325	225,120	151.4
9	1,322,461	37	-52	P 48,309	P 27,407	6	435		
10	1,321,895		-299			5	1,322		
前月比%	-0.0	-	-	-0.5	1.3	-16.7	203.9	-15.0	-4.9
前年同月比%	-1.1	-	-	1.1	3.2	-28.6	65.7	-3.3	-2.3
資料出所	県統計分析課		日本銀行青森支店		東京商工リサーチ		県統計分析課		

※人口の年は1月1日、月は各1日現在、社会動態は年・月中の計数

※日銀券の年次計数は年度累計

※実質預金は手形・小切手を除く、預貸金の年次計数は年度末残高

年次及び月	鉱工業 生産指数 (季調済) 2010年=100	新設住宅着工戸数			新設住宅 床面積 (千平米)	公共工事請負額		新規求人 率 (倍)	有効求人 倍率 (倍)
		総戸数 (戸)	うち持家 (戸)	うち貸家 (戸)		(百万円)	うち県分 (百万円)		
2008 (H20)	106.6	6,457	3,305	2,630	672	172,034	60,381	0.57	0.38
2009 (H21)	90.3	5,356	3,002	2,084	566	189,665	63,816	0.53	0.29
2010 (H22)	100.0	4,708	3,138	1,286	534	187,168	57,357	0.64	0.39
2011 (H23)	95.8	4,890	3,051	1,581	518	182,648	54,547	0.75	0.46
2012 (H24)	104.7	5,578	3,286	1,844	582	208,618	55,074	0.92	0.61
2013 (H25)	106.4	6,461	4,193	1,958	632	197,238	60,716	1.06	0.72
2013 (H25) 7	102.7	622	397	180	68	28,111	7,573	1.00	0.70
8	108.3	612	440	160	68	21,675	7,285	0.99	0.71
9	104.0	668	465	178	76	24,365	12,720	0.99	0.70
10	106.2	697	474	209	78	22,887	4,680	1.06	0.72
11	106.7	673	443	198	72	8,600	2,447	1.04	0.75
12	106.7	562	313	215	54	6,920	2,043	1.09	0.76
2014 (H26) 1	114.8	294	169	110	30	4,161	1,830	1.17	0.78
2	108.0	227	102	113	21	6,158	837	1.14	0.77
3	108.7	283	175	86	30	8,872	4,918	1.15	0.79
4	105.5	525	388	107	59	20,068	7,713	1.20	0.81
5	105.8	435	335	77	51	13,582	3,878	1.22	0.83
6	100.6	528	364	126	61	22,614	6,545	1.08	0.80
7	112.6	557	306	213	56	21,139	6,910	1.11	0.80
8	P 99.5	462	308	113	52	14,906	6,938	1.10	0.79
9		550	363	161	58	22,415	12,546	1.08	0.79
前月比%	-11.6	19.0	17.9	42.5	11.0	50.4	80.8	-0.02ポイント	0.00ポイント
前年同月比%	-8.8	-17.7	-21.9	-9.6	-23.6	-8.0	-1.4	0.09ポイント	0.09ポイント
資料出所	県統計分析課	県建築住宅課			東日本建設業保証		青森労働局		

※鉱工業生産指数の年次計数および前年同月比は原指数による

※求人倍率の年次の欄は原数値の年度計数

※公共工事請負額の年次の欄は年度計数

## 青森県の主要経済指標・各種統計 2

年次及び月	大型小売店 販売額 (百万円)	新車 登録台数 (台)	乗用車登録 届出台数 (台)	消費者 物価指数 2010年=100 (青森市)	勤労者世帯 家計消費 支出額 (青森市)(円)	雇用保険		青森県景気 ウォッチャー調査 (現状判断DI)	おおぎん BSI
						受給人員 (人)	受給金額 (百万円)		
2008 (H20)	172,323	27,157	42,722	102.4	291,752	-	17,927	-	-
2009 (H21)	165,738	26,929	41,192	100.3	302,596	-	19,497	-	-
2010 (H22)	170,306	29,949	42,970	100.0	270,767	-	14,886	-	-
2011 (H23)	175,736	26,512	38,137	100.1	287,873	-	14,439	-	-
2012 (H24)	181,246	33,496	49,397	99.3	274,133	-	13,070	-	-
2013 (H25)	179,920	31,442	49,982	99.6	267,928	-	12,291	-	-
2013 (H25) 7	14,852	3,205	4,662	99.3	264,852	9,255	1,036	51.5	} 0.7
8	16,077	2,103	3,259	99.4	253,893	8,939	1,010	-	
9	13,790	2,784	4,503	100.4	238,310	7,801	812	-	
10	14,186	2,718	3,957	100.4	239,619	7,239	829	51.5	} 17.5
11	14,427	2,748	4,448	100.4	231,726	6,630	683	-	
12	19,083	1,986	3,576	100.8	272,465	7,265	748	-	
2014 (H26) 1	14,897	2,421	4,097	101.0	220,923	11,970	1,832	54.8	} 6.4
2	13,091	2,872	4,971	101.2	245,666	9,677	1,296	-	
3	17,284	4,814	7,625	101.1	338,731	7,491	884	-	
4	13,084	2,603	4,160	103.3	253,114	7,508	929	46.0	} -12.8
5	14,149	1,981	3,448	103.7	286,793	8,493	1,016	-	
6	14,204	2,599	4,374	103.8	264,022	7,897	865	-	
7	14,638	3,195	4,573	104.0	247,510	8,598	1,023	45.7	} -10.9
8	16,226	1,878	2,730	103.8	278,121	7,895	836	-	
9	P 13,450	2,941	4,627	104.0	219,929	7,288	788	-	
前月(期)比%	-	56.6	69.5	0.2	-20.9	-7.7	-5.6	-0.3ホ* イト	1.9ホ* イト
前年同月(期)比%	-3.4	5.6	2.8	3.6	-7.7	-6.6	-2.9	-	-
資料出所	東北経産局	自販協連合会青森県支部	県統計分析課	総務省	青森労働局	県統計分析課	青森銀行		

※大型小売店販売額の前年同月比は既存店ベース増減率

※雇用保険の年次の値は年度計数

年次及び月	りんご			漁業 (八戸港水揚高)		貿易 (青森港)		貿易 (八戸港)	
	出荷量 (トン)	市場価格 (円/Kg)	産地価格 (円/Kg)	数量 (トン)	金額 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)
2008 (H20)	312,042	234	136	129,647	23,303	14,006	39,184	144,333	166,315
2009 (H21)	288,061	257	144	139,275	21,694	9,692	19,402	113,721	105,780
2010 (H22)	297,566	261	168	119,470	23,405	9,244	24,003	151,688	118,867
2011 (H23)	215,428	364	214	121,511	21,044	9,178	29,937	111,720	103,081
2012 (H24)	274,892	263	164	112,395	18,670	6,785	29,059	107,146	122,288
2013 (H25)	255,696	317	191	97,591	19,672	7,651	35,866	122,070	141,664
2013 (H25) 7	11,639	306	-	4,083	877	571	0	16,446	13,208
8	4,336	346	-	11,510	2,700	773	3,245	8,113	10,738
9	18,836	247	138	26,242	4,232	554	2,077	7,943	12,496
10	25,439	249	175	22,248	3,477	457	1,909	9,168	12,353
11	22,057	288	209	13,181	3,761	603	1,891	10,374	9,008
12	24,081	331	184	5,875	1,574	830	5,792	8,328	11,731
2014 (H26) 1	28,422	305	196	4,176	1,043	698	4,222	11,047	12,072
2	29,540	295	194	4,157	1,120	567	4,467	7,203	11,997
3	32,106	295	200	1,694	618	608	3,468	8,989	10,033
4	27,872	317	246	1,156	527	546	2,942	10,403	29,909
5	21,482	356	-	2,146	414	849	1,907	11,646	11,379
6	13,857	388	-	2,383	464	384	2,522	23,079	11,981
7	8,792	446	-	6,623	1,362	974	2,486	9,990	24,813
8	2,911	510	-	13,172	2,686	593	2,288	10,024	11,906
9	23,426	249	138	28,591	4,270	605	2,823	7,160	14,390
前月比 %	704.7	-51.2	-	117.1	59.0	2.0	23.4	-28.6	20.9
前年同月比%	24.4	0.8	0.0	9.0	0.9	9.2	35.9	-9.9	15.2
資料出所	県りんご果樹課			八戸市水産事務所		函館税関、青森支署・八戸支署			

※りんご年次欄はりんご年度の計数



### 青森県の主要経済指標・各種統計 3

年次及び月	青森県の気象(青森地方気象台)			バスポート 発行件数
	気温 (°C)	降水量(ml)	日照時間(h)	(件)
2013 (H25)	10.5	1,664.0	1,515.5	14,968
2013 (H25) 9	20.4	238.5	172.1	1,240
10	14.6	204.5	101.1	1,164
11	6.7	136.0	87.2	1,139
12	2.0	121.0	71.1	1,219
2014 (H26) 1	-1.6	168.0	40.5	1,280
2	-1.3	88.5	76.9	989
3	2.5	145.5	139.2	1,149
4	8.8	14.0	259.5	1,004
5	14.6	46.0	206.8	1,087
6	18.1	122.0	168.6	1,022
7	23.2	107.0	204.4	1,280
8	23.6	274.0	132.1	1,530
9	19.2	70.0	208.7	1,231
10	12.8	146.5	170.6	1,059
前月比 %	-6.4°C	76.5ml	-38.1h	-14.0
前年同月比%	-1.8°C	-58.0ml	69.5h	-9.0
資料出所	気象庁			外務省

### ☆県内主要都市・地区各種指標

年次及び期	地区別業況BSI		
	青森地区	津軽地区	県南地区
2012 (H24)			
1~3月	16.3	-8.8	6.9
4~6月	15.9	-5.7	15.3
7~9月	0.0	-21.1	5.3
10~12月	0.0	-17.1	5.6
2013 (H25)			
1~3月	-23.3	-5.3	-1.9
4~6月	-24.0	-23.1	-3.6
7~9月	-6.3	5.7	3.7
10~12月	18.6	7.5	24.1
2014 (H26)			
1~3月	9.8	5.7	6.3
4~6月	-13.6	-15.0	-10.5
7~9月	4.7	-24.2	-15.4
10~12月	-20.9	-3.1	-3.9
資料出所	青森銀行BSI('14.10~12月期は見通し)		

年次及び月	推計人口 (人)			新車(登録車)販売台数(台) (大型特殊車除く)			新設住宅着工戸数 (戸)		
	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市
2013 (H25) 8	293,531	179,933	234,253	486	246	460	151	79	112
9	293,422	179,803	234,203	640	308	574	147	106	121
10	293,219	179,831	234,124	710	282	553	260	75	110
11	293,100	179,796	234,117	613	312	582	170	72	187
12	292,949	179,685	234,038	516	285	385	109	103	165
2014 (H26) 1	292,769	179,582	233,951	537	268	534	75	22	105
2	292,437	179,415	233,919	693	340	572	29	16	71
3	292,241	179,248	233,857	1,207	613	915	55	28	90
4	290,568	178,399	233,011	607	276	592	158	81	117
5	291,307	178,626	233,065	463	229	402	108	67	76
6	291,194	178,519	232,962	644	310	554	128	70	95
7	291,003	178,434	232,953	885	346	641	190	83	114
8	290,915	178,358	232,971	473	226	374	101	65	108
9	290,838	178,268	232,878	704	327	639	126	74	115
10	290,646	178,279	232,860						
前月比 %	-0.1	0.0	-0.0	48.8	44.7	70.9	24.8	13.8	6.5
前年同月比%	-0.9	-0.9	-0.5	10.0	6.2	11.3	-14.3	-30.2	-5.0
資料出所	青森県統計分析課			自販協連合会青森県支部			青森県建築住宅課		

年次及び月	有効求人倍率 職業安定所別			企業倒産					
				青森市		弘前市		八戸市	
	青森	弘前	八戸	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)
2013 (H25) 8	0.61	0.52	0.83	0	0	0	0	1	120
9	0.62	0.67	0.93	1	10	0	0	0	0
10	0.70	0.72	0.91	2	215	0	0	3	213
11	0.67	0.66	0.94	0	0	0	0	2	620
12	0.53	0.45	0.75	0	0	1	23	3	759
2014 (H26) 1	0.52	0.40	0.73	0	0	1	135	0	0
2	0.65	0.51	0.81	4	370	0	0	1	90
3	0.73	0.56	0.86	0	0	0	0	2	60
4	0.69	0.55	0.81	6	472	0	0	1	100
5	0.69	0.56	0.77	2	88	0	0	0	0
6	0.70	0.56	0.80	2	185	0	0	1	100
7	0.72	0.54	0.83	2	230	0	0	2	450
8	0.80	0.60	0.89	1	150	0	0	2	175
9	0.79	0.77	0.97	1	25	3	330	0	0
10				0	0	1	57	2	1,200
前月比 %	-0.01 ポイント	0.17 ポイント	0.08 ポイント	-100.0	-100.0	-66.7	-82.7	-	-
前年同月比%	0.17 ポイント	0.10 ポイント	0.04 ポイント	-100.0	-100.0	-	-	-33.3	463.4
資料出所	青森労働局			東京商工リサーチ青森支店					

※有効求人倍率は原数値による